

授業概要

～あらゆる場面で話せる韓国語～

韓国語Ⅰ・Ⅱを履修した学生を対象とし、韓国語の多様な表現（語彙・接続語尾の活用）とともにワンランク上の読解力と文章表現力の向上を目指す。日常的な生活場面だけでなく、文化・文学・社会・政治・経済などにも多く触れ、今の韓国社会について幅広く知り、韓国人と韓国語で意見交換ができることを目的とする。授業は、学生のレベルに合わせ、これまで学んだ基礎文法事項をも踏まえながら、毎回のテーマについて意見を交換し合う。

授業計画

第1回	授業の進め方、評価法の概略、中級の復習	
第2回	あらゆる場面での挨拶	
第3回	韓国の食文化①	*リスニング・文化体験①（30分）
第4回	韓国の食文化②	*リスニング・文化体験②（30分）
第5回	学校生活について	*リスニング・文化体験③（30分）
第6回	文化と趣味	*リスニング・文化体験④（30分）
第7回	美の意識—外見・恋愛	*リスニング・文化体験⑤（30分）
第8回	感情と性格	*リスニング・文化体験⑥（30分）
第9回	病気と治療に関する用語	*リスニング・文化体験⑦（30分）
第10回	住宅情報	*リスニング・文化体験⑧（30分）
第11回	招待と訪問	*リスニング・文化体験⑨（30分）
第12回	旅行・観光地	*リスニング・文化体験⑩（30分）
第13回	経済と政治	
第14回	歴史・映画①	
第15回	歴史・映画②	
第16回	試験	

到達目標

1. 韓国語の長文を読んで理解し、韓国語で自分の意見が言えるようになる。
2. 映画やドラマ、音楽などの韓国語が理解できるようになる。
3. 韓国社会についての理解を深めるとともに自国の文化をも知る。

履修上の注意

1. 外国語の授業なので、グループで行う活動など授業への積極的な参加が求められる。
2. 30分以内の遅刻でも授業への積極さを考慮し、出席とする。
3. 「韓国語Ⅰ・Ⅱ」の履修者が望ましい。
4. 履修した場合は、韓国語能力試験2～4級が受けられるレベルになる。

予習復習

1. 予習については、毎回、提示されるテキストを読んでくること。
2. 復習については、毎回、提示される課題をやってくること。

評価方法

平常点（50点—授業の参加度・小テスト・課題・発表）、試験（50点）を予定している。

テキスト

テキストは使用せず、ビデオ教材など、学生のレベルに合わせたプリント教材（韓国語で書かれた多様な分野のプリント教材）を配布する。